

ヤマネ
国の天然記念物。18g程の冬眠するネズミ。
山形県では絶滅危惧Ⅱ類に指定。

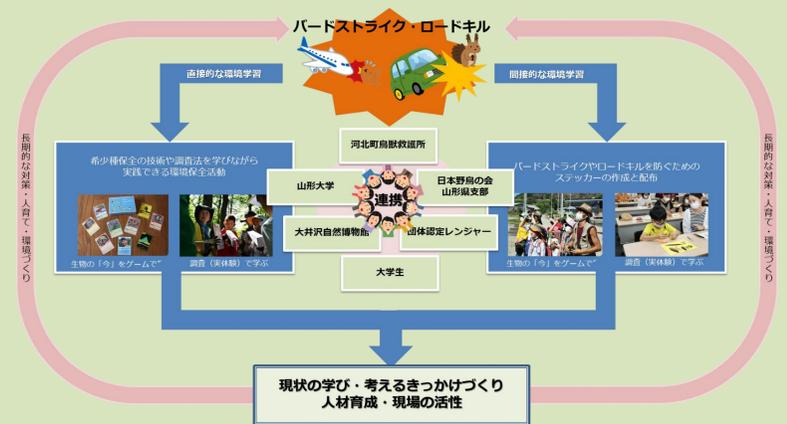
『やまがたヤマネ研究会』とは…？

持続可能な山形の自然環境と未来の自然環境を担う若者や子どもたちのために、野生動物の生態調査と研究結果を生かした環境教育を行っています。専門家任せで遠い存在の『野生動物』や『自然』を身近に感じ、一人一人がほんの少しのアクションで地域の自然の問題を解決できる山形を目指して、地域環境の‘今’を知るきっかけづくりの場を提供しています。

『希少野生鳥獣の保護保全を学べる環境学習事業』

本事業の目的は、交通事故や人工物に衝突して亡くなってしまうことの多い絶滅危惧種の保護保全活動を地域の子供たちと一緒にを行うことを目的としています。具体的には、以下の内容を実施します。

- ①希少種保全の技術や調査法を学びながら実践できる環境保全活動
- ②バードストライクやロードキルを防ぐためのステッカーの作成



さらに、本活動では大学生の実践的な環境教育を学ぶ場・技術を習得できる場として開放することで、大学生自身が将来現場に立った時に、現在の現場で働く専門家の方とのつながりも容易に構築でき、ネットワークを創出してもらえるようにサポートします。また、環境教育に参加した子供たちにとっても、楽しみながら学べる環境を提供することで、野生鳥獣の保護保全活動に関わる職業に興味を持てるような継続的な人材育成を見込んでいます。これらの活動を継続することで、山形県内のESD活動推進の一助を担えるものと思っています。

活動① 希少種保全の技術や調査法を学びながら実践できる環境保全活動



専門家の協力のもと、下記の2つの活動を実施しました。計65名の方々に参加いただきました。

- 6月3日 『野生動物調査体験&オリジナルゲームバトル！』
- 11月11日 『身近な鳥の観察会&羽根標本づくり』

活動② バードストライクやロードキルを防ぐためのステッカーの作成と配布



地域の野鳥の専門家や地域の子供たちとともに考案したオリジナルのステッカー（バードセイバーなど）をデザイン・作成します（現在作成中）。



作成したステッカーは希望する一般、教育機関、企業に配布予定です。

活動の感想と今後の展開

○ 多くのステークホルダーと協力しながら、環境保全活動が行えました。特にご家族そろっての参加が多く、多世代で関わりを持ってもらいながらの活動を実施することができました。また、各方面の専門家の方を招聘することで、大学生のみならず、参加の子ども達やそのご家族への山形の自然環境の「今」を学んでいただけるきっかけづくりができたと感じています。

○ 参加大学生から「将来の進路への参考になる」「地域や子どもたちとの関わりを通じて研究の還元を意識した」という声をもらっています。さらに、参加者からは次回のイベントの問い合わせを頂くとともに、ご家族で身の回りの生き物調べを始めたという声も聞きました。これから作成予定のステッカーを用いることで、より一層、絶滅危惧種の保護保全活動の普及啓発を行っていきたいと考えています。